

ニュースクリップ

OMCIクリニック

心の病を治療できる環境づくり

職場のメンタルヘルス  
支援プログラムを提案

昨今、経済不況と職場における心の健康との相関が言及されている。

成果主義の導入が職場の対人関係を難しくしている側面もあり、不況になると心を病むケースが増えている。労災認定や自殺の件数も増大し、職場の人事

担当者や労務管理者などは具体的な対応に苦勞することも多い。

長年、職場のメンタルヘルスケアに携わってきた精神科医の藤本修氏一写真は昨年10月1日、一般社団法人おおさかメンタルヘルスケア研究所を設立。自らが院長を務める付属クリニック(OMCIクリニック)での診察を含め、専門家集団としての立場から「職場のメンタル

ヘルス支援プログラム」を提案している。

プログラムは①主として精神科医が行う労働者の精神疾患に対する対応(疾病相談、復職判定、復職後のフォローアップ)②臨床心理士・精神保健福祉士によるメンタルヘルス相談(EAP事業)③職場でのメンタルヘルス研修④付属クリニックでの診療⑤精神疾患で休職中の労働者に対する復職支援サービス⑥精神障害などの労災認定についての相談⑦メンタルヘルス啓発用パンフレットやチラシの作成⑧事業場への専門職の派遣。

これら以外についても必要に

応じて、専門家が対応するので心強い。

「企業におけるメンタルヘルスケアに対する意識は高まっています。しかし、意識はあっても諸事情により、自社でそのまま手がまわらないケースも多い。そうした点で企業との橋渡しをしていきたい」と話す藤本氏。「人間理解と専門職の調和」をスローガンに、安心して



心の病を治療できる社会環境づくりへの貢献を目指す。

▷所在地 大阪市中央区久太郎町3の3の9  
ORIX久太郎町ビル1F  
メンタルヘルス事業部 ☎06・6251・1929  
<http://omci-clinic.com/>